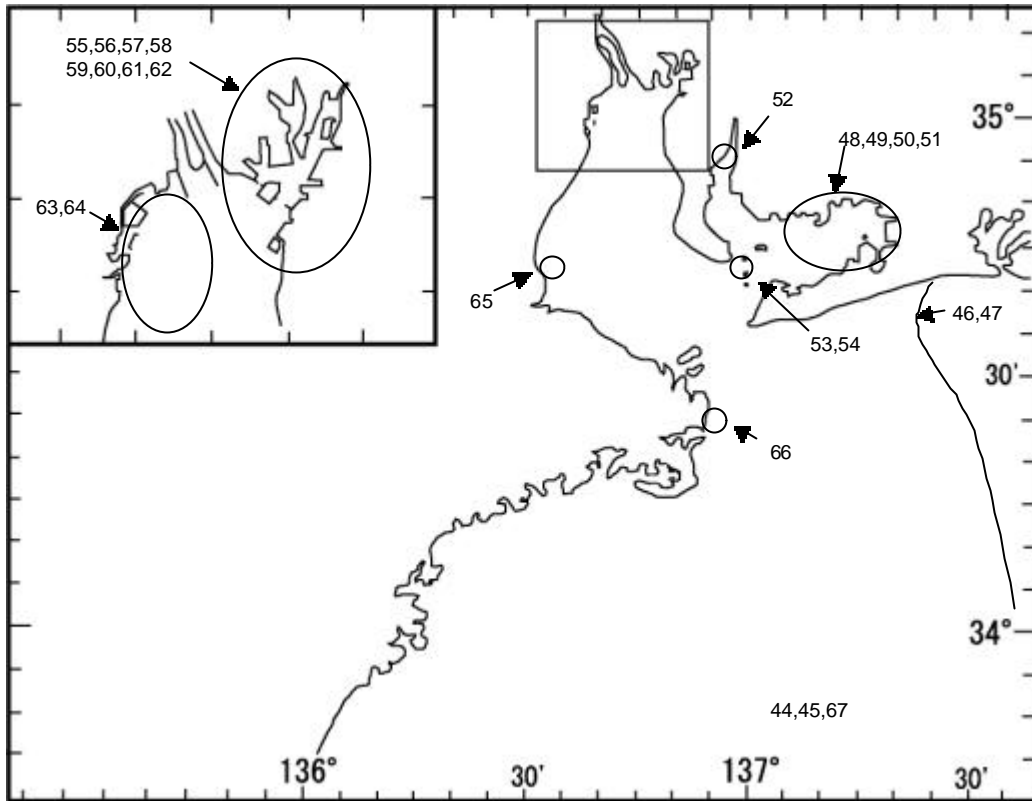


四管区水路通報第 3 号

平成 14 年 1 月 23 日

第四管区海上保安本部

第 4 4 項	北太平洋北西部	・	海底地形調査
第 4 5 項	本州南岸	遠州灘及熊野灘	・ 救難訓練
第 4 6 項	本州南岸	遠州灘	・ 海底掃海作業
第 4 7 項	本州南岸	遠州灘	・ 海底線埋設作業
第 4 8 項	本州南岸	三河港及付近	・ 水路測量
第 4 9 項	本州南岸	三河港南部	・ 掘下げ作業等
第 5 0 項	本州南岸	三河港北部、三谷漁港	・ 防波堤基礎工事
第 5 1 項	本州南岸	三河港北部、三谷漁港	・ 突堤基礎工事
第 5 2 項	本州南岸	衣浦港	・ 土砂積替作業
第 5 3 項	本州南岸	師崎水道、篠島港	・ 防波堤改修工事
第 5 4 項	本州南岸	師崎水道、篠島港	・ 防波堤補強工事
第 5 5 項	名古屋港	東航路	・ 灯浮標一時移設復旧作業
第 5 6 項	名古屋港	東航路	・ 水路測量
第 5 7 項	名古屋港	第 4 区及西航路	・ 掘下げ作業
第 5 8 項	名古屋港	西航路及東航路	・ 掘下げ作業
第 5 9 項	名古屋港	第 4 区	・ 地盤改良工事
第 6 0 項	名古屋港	第 4 区	・ 錨泊区域一時変更
第 6 1 項	名古屋港	第 4 区	・ 水路測量
第 6 2 項	名古屋港	第 4 区	・ 水路測量
第 6 3 項	本州南岸	四日市港、第 3 区	・ 水路測量
第 6 4 項	本州南岸	四日市港、第 3 区	・ 環境調査
第 6 5 項	伊勢湾	津港	・ 起重機船作業
第 6 6 項	本州南岸	国崎漁港	・ 防波堤基礎工事
第 6 7 項	本州南岸	熊野灘	・ 海洋調査等



14年44項

北太平洋北西部 - 海底地形調査

調査船「なつしま」による4000m級深海えい航カメラシステム「ディープトゥカメラ」を用いた曳航調査が実施される。

期 間 平成14年2月15日～3月2日までの日出～日没

区 域 (調査海域)

下記7地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 32-20N 135-20E

32-20N 135-20E

(2) 33-00N 137-15E

33-00N 137-15E

(3) 33-40N 138-20E

33-40N 138-20E

(4) 34-30N 137-55E

34-30N 137-55E

(5) 34-00N 136-35E

34-00N 136-35E

(6) 33-30N 136-10E

33-30N 136-10E

(7) 33-05N 134-55E

33-05N 134-55E

(「ディープトゥカメラ」探査測線)

1 下記2地点を結ぶ線上

(8) 32-35N 135-47E

32-35N 135-47E

(9) 33-00N 135-45E

33-00N 135-45E

2 下記2地点を結ぶ線上

(10) 33-09N 136-47E

33-09N 136-47E

(11) 33-14N 136-44E

33-14N 136-44E

3 下記2地点を結ぶ線上

(12) 33-03N 136-27E

33-03N 136-27E

(13) 33-05N 136-27E

33-05N 136-27E

- | | | | |
|----|---------------------|--------|---------|
| 4 | 下記2地点を結ぶ線上 | | |
| | (14) 33-05N 136-32E | 33-05N | 136-32E |
| | (15) 33-08N 136-30E | 33-08N | 136-30E |
| 5 | 下記2地点を結ぶ線上 | | |
| | (16) 33-39N 136-28E | 33-39N | 136-27E |
| | (17) 33-42N 136-28E | 33-42N | 136-27E |
| 6 | 下記2地点を結ぶ線上 | | |
| | (18) 33-50N 136-45E | 33-50N | 136-45E |
| | (19) 33-57N 136-45E | 33-57N | 136-45E |
| 7 | 下記2地点を結ぶ線上 | | |
| | (20) 33-35N 136-39E | 33-35N | 136-39E |
| | (21) 33-44N 136-46E | 33-44N | 136-46E |
| 8 | 下記2地点を結ぶ線上 | | |
| | (22) 33-45N 136-58E | 33-45N | 136-58E |
| | (23) 33-55N 137-01E | 33-55N | 137-01E |
| 9 | 下記2地点を結ぶ線上 | | |
| | (24) 33-42N 137-28E | 33-42N | 137-28E |
| | (25) 33-55N 137-20E | 33-55N | 137-20E |
| 10 | 下記2地点を結ぶ線上 | | |
| | (26) 34-09N 137-44E | 34-09N | 137-44E |
| | (27) 33-59N 137-43E | 33-59N | 137-43E |

海 図 1 0 0 1
出 所 海洋科学技術センター

14年45項 本州南岸 - 遠州灘及熊野灘 救難訓練
自衛隊航空機により、照明弾及びマリンマーカ―等を投下して洋上救難訓練が実施される。

期 間 平成14年2月1日～28日までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日0800～2100

区 域 下記6地点を結ぶ線により囲まれる区域

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	34-38N 137-30E	34-38N 137-30E
(2)	34-38N 138-00E	34-38N 138-00E
(3)	34-25N 138-30E	34-25N 138-30E
(4)	32-40N 138-30E	32-40N 138-30E
(5)	32-40N 136-10E	32-40N 136-10E
(6)	33-47N 136-10E	33-47N 136-10E

海 図 W 6 1 B
出 所 航空自衛隊浜松救難隊

14年46項 本州南岸 - 遠州灘 海底掃海作業

下記区域で海底掃海作業が実施されている。

期 間 平成14年1月31日まで

区 域 下記6地点により囲まれる区域

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	34-39-30N 137-27-42E	34-39-42N 137-27-31E

(2)	34-35-30N	137-30-00E	34-35-42N	137-29-49E
(3)	34-14-49N	137-36-00E	34-15-01N	137-35-49E
(4)	34-14-09N	137-33-13E	34-14-21N	137-33-02E
(5)	34-30-36N	137-29-12E	34-30-48N	137-29-01E
(6)	34-38-18N	137-24-43E	34-38-30N	137-24-32E

備考 作業船は船尾から長さ最大3750mのケーブルに掃海用アンカーを備え付け、えい航する。
 海図 W70 - W61B
 出所 鳥羽海上保安部

14年47項 本州南岸 - 遠州灘 海底線埋設作業

下記区域で潜水土による海底線埋設作業が実施されている。

期間 平成14年2月18日（予備日2月19日～28日）まで

区域 下記3地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	34-40-08N	137-28-01E	34-40-20N	137-27-50E
(2)	34-40-05N	137-28-00E	34-40-17N	137-27-49E
(3)	34-38-54N	137-27-30E	34-39-06N	137-27-19E

備考 警戒船を配備する。

海図 W70

出所 鳥羽海上保安部

14年48項 本州南岸 - 三河港及付近 水路測量

下記区域で水路測量が実施される。

期間 平成14年2月5日～8日（予備日2月9日～12日）までの日出～日没

区域 1 下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	34-46-36.8N	137-18-35.9E	34-46-48.6N	137-18-25.1E
(2)	34-46-34.7N	137-18-26.8E	34-46-46.5N	137-18-16.0E
(3)	34-46-53.4N	137-18-20.3E	34-47-05.2N	137-18-09.5E
(4)	34-46-36.8N	137-18-35.9E	34-46-48.6N	137-18-25.1E

2 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

(5)	34-46-58.4N	137-10-36.4E	34-47-10.2N	137-10-25.7E
(6)	34-46-51.0N	137-10-33.5E	34-47-02.8N	137-10-22.8E
(7)	34-46-55.3N	137-10-17.4E	34-47-07.1N	137-10-06.7E
(8)	34-46-56.3N	137-10-17.6E	34-47-08.1N	137-10-06.9E

備考 作業船は赤白旗を掲げる。

海図 W1057A - 5650-60 - W1052

出所 三河港長

14年49項 本州南岸 - 三河港南部 掘下げ作業等

下記区域で掘り下げ作業及び水路測量が実施される。

期間 平成14年1月25日～3月28日までの日出～日没

区域 下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	34-42-14.7N	137-18-24.7E	34-42-26.6N	137-18-13.9E
-----	-------------	--------------	-------------	--------------

- (2) 34-42-14.7N 137-18-38.5E 34-42-26.6N 137-18-27.7E
 (3) 34-41-54.9N 137-18-38.5E 34-42-06.8N 137-18-27.7E
 (4) 34-41-54.9N 137-18-24.7E 34-42-06.8N 137-18-13.9E

備考 警戒船を配備する。
 海図 W1057B
 出所 三河港長

14年50項 本州南岸 - 三河港北部、三谷漁港 防波堤基礎工事

下記区域で防波堤基礎工事が実施されている。

期間 平成14年3月18日までの0800～1700

区域 下記3地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- (1) 34-48-31.8N 137-14-57.7E 34-48-43.6N 137-14-46.9E
 (2) 34-48-31.2N 137-14-51.0E 34-48-43.0N 137-14-40.2E
 (3) 34-48-38.1N 137-14-55.3E 34-48-49.9N 137-14-44.5E

標識 作業区域に赤旗及び黄灯付浮標を設置する。

備考 (1)潜水作業を伴う。
 (2)警戒船を配備する。

海図 W1057A
 出所 三河港長

14年51項 本州南岸 - 三河港北部、三谷漁港 突堤基礎工事

下記区域で突堤基礎工事が実施されている。

期間 平成14年3月20日までの0800～1700

区域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- (1) 34-48-26.9N 137-14-55.4E 34-48-38.7N 137-14-44.6E
 (2) 34-48-21.4N 137-14-47.8E 34-48-33.2N 137-14-37.0E
 (3) 34-48-23.9N 137-14-45.3E 34-48-35.7N 137-14-34.5E
 (4) 34-48-29.2N 137-14-52.7E 34-48-41.0N 137-14-41.9E

標識 作業区域に赤旗及び黄灯付浮標を設置する。

備考 (1)潜水作業を伴う。
 (2)警戒船を配備する。

海図 W1057A
 出所 三河港長

14年52項 本州南岸 - 衣浦港 土砂積替作業

下記区域で土砂積替作業が実施されている。

期間 平成14年3月20日までの日出～日没

区域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- (1) 34-54-55.3N 136-58-56.0E 34-55-07.0N 136-58-45.3E
 (2) 34-54-55.6N 136-58-52.1E 34-55-07.3N 136-58-41.4E
 (3) 34-54-58.8N 136-58-52.4E 34-55-10.5N 136-58-41.7E
 (4) 34-54-58.5N 136-58-56.3E 34-55-10.2N 136-58-45.6E

標 識 作業区域に赤白旗付竹竿を設置する。
海 図 W 1 0 5 6
出 所 衣浦港長

1 4 年 5 3 項 本州南岸 - 師崎水道、篠島港 防波堤改修工事

下記地点付近で防波堤の改修工事が実施されている。

期 間 平成14年3月10日までの0800～1700

位 置 下記地点付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-40-30N 137-00-22E

34-40-42N 137-00-11E

海 図 W 1 0 5 4

出 所 衣浦海上保安署

1 4 年 5 4 項 本州南岸 - 師崎水道、篠島港 防波堤補強工事

下記区域で防波堤補強工事が実施されている。

期 間 平成14年3月10日までの0800～1700

区 域 下記地点付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-40-31N 137-00-18E

34-40-43N 137-00-07E

海 図 W 1 0 5 4

出 所 衣浦海上保安署

1 4 年 5 5 項 名古屋港 - 東航路 灯浮標一時移設復旧作業

(四管区水路通報 13年 43号 1169項 関連)

下記区域で名古屋港東航路第五号灯浮標 (34-58-45N 136-48-47E 日本測地系) の一時移設を復旧する作業が実施される。

期 間 平成14年1月30日 (予備日1月31日～2月4日) の日出～日没

区 域 1 (移動前) 下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-59-01.6N 136-49-00.4E

34-59-13.3N 136-48-49.8E

(2) 34-58-57.6N 136-48-57.1E

34-59-09.3N 136-48-46.5E

(3) 34-58-59.8N 136-48-53.2E

34-59-11.5N 136-48-42.6E

(4) 34-59-03.9N 136-48-56.4E

34-59-15.6N 136-48-45.8E

2 (移動後) 下記4地点により囲まれる区域

(5) 34-58-46.3N 136-48-49.0E

34-58-58.0N 136-48-38.4E

(6) 34-58-42.2N 136-48-45.8E

34-58-53.9N 136-48-35.2E

(7) 34-58-44.3N 136-48-41.8E

34-58-56.0N 136-48-31.2E

(8) 34-58-48.4N 136-48-45.0E

34-59-00.1N 136-48-34.4E

海 図 W 1 0 5 5 A - W 1 0 5 5 B

出 所 名古屋港長

1 4 年 5 6 項 名古屋港 - 東航路 水路測量

下記区域で水路測量が実施される。

期 間 平成14年2月1日～9日 (予備日2月10日～28日) までの日出～日没

区 域 1 下記8地点により囲まれる区域

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	34-59-49.5N 136-49-29.7E	35-00-01.2N 136-49-19.0E
(2)	35-00-38.9N 136-50-09.4E	35-00-50.6N 136-49-58.7E
(3)	35-00-57.8N 136-50-16.9E	35-01-09.5N 136-50-06.2E
(4)	35-00-57.7N 136-50-17.3E	35-01-09.4N 136-50-06.6E
(5)	35-01-11.6N 136-50-22.4E	35-01-23.3N 136-50-11.7E
(6)	35-01-12.8N 136-50-29.4E	35-01-24.5N 136-50-18.7E
(7)	35-00-49.2N 136-50-25.1E	35-01-00.9N 136-50-14.4E
(8)	34-59-46.8N 136-49-34.9E	34-59-58.5N 136-49-24.2E

2 下記4地点により囲まれる区域

(9)	35-01-24.1N 136-50-27.5E	35-01-35.8N 136-50-16.8E
(10)	35-01-34.4N 136-50-31.7E	35-01-46.1N 136-50-21.0E
(11)	35-01-35.4N 136-50-35.7E	35-01-47.1N 136-50-25.0E
(12)	35-01-25.1N 136-50-33.8E	35-01-36.8N 136-50-23.1E

備 考 作業船は白赤白のえん尾旗を掲げる。
海 図 W 1 0 5 5 A
出 所 四本部水路部

1 4 年 5 7 項 名古屋港 - 第 4 区及西航路 掘下げ作業

下記区域で掘下げ作業が実施される。

期 間 平成14年2月1日～7月15日までの日出～日没

区 域 下記3地点により囲まれる区域

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	35-01-05.1N 136-49-39.4E	35-01-16.8N 136-49-28.7E
(2)	35-00-54.4N 136-50-11.0E	35-01-06.1N 136-50-00.3E
(3)	35-00-54.6N 136-49-42.1E	35-01-06.3N 136-49-31.4E

備 考 警戒船を配備する。
海 図 W 1 0 5 5 A
出 所 名古屋港長

1 4 年 5 8 項 名古屋港 - 西航路及東航路 掘下げ作業

下記区域で掘下げ作業が実施される。

期 間 平成14年2月1日～28日までの毎週月曜日0900～金曜日1600

区 域 下記4地点により囲まれる区域

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	35-01-26.1N 136-50-34.5E	35-01-37.8N 136-50-23.8E
(2)	35-01-11.9N 136-50-35.3E	35-01-23.6N 136-50-24.6E
(3)	35-01-10.6N 136-50-23.7E	35-01-22.3N 136-50-13.0E
(4)	35-01-25.2N 136-50-29.5E	35-01-36.9N 136-50-18.8E

海 図 W 1 0 5 5 A
出 所 名古屋港長

14年59項

名古屋港 - 第4区 地盤改良工事

弥富ふ頭（西3区）前面海域で掘下げ・捨石作業が実施されている。

期 間 平成14年3月29日までの日出～日没

区 域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | | | | |
|-----|-------------|--------------|-------------|--------------|
| (1) | 35-01-35.7N | 136-48-03.6E | 35-01-47.4N | 136-47-53.0E |
| (2) | 35-01-31.5N | 136-48-00.8E | 35-01-43.2N | 136-47-50.2E |
| (3) | 35-01-36.5N | 136-47-50.2E | 35-01-48.2N | 136-47-39.6E |
| (4) | 35-01-40.7N | 136-47-53.5E | 35-01-52.4N | 136-47-42.9E |

備 考 (1)潜水作業を伴う。
(2)警戒船を配備する。

海 図 W 1 0 5 5 A

出 所 名古屋港長

14年60項

名古屋港 - 第4区 錨泊区域一時変更

掘下げ作業の実施に伴い、錨泊区域が一時変更される。

期 間 平成14年2月1日～7月15日

区 域 (現在の設定区域)

下記地点を中心とする半径400mの円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | | | | |
|-----|-------------|--------------|-------------|--------------|
| (1) | 35-00-42.2N | 136-49-52.7E | 35-00-53.9N | 136-49-42.0E |
|-----|-------------|--------------|-------------|--------------|
- (一時変更時の区域)

下記地点を中心とする半径350mの円内

- | | | | | |
|-----|-------------|--------------|-------------|--------------|
| (2) | 35-00-42.2N | 136-49-52.7E | 35-00-53.9N | 136-49-42.0E |
|-----|-------------|--------------|-------------|--------------|

海 図 W 1 0 5 5 A

出 所 名古屋港長公示第14-3号

14年61項

名古屋港 - 第4区 水路測量

下記区域で水路測量が実施される。

期 間 平成14年2月4日～11日（予備日2月12日～15日）までの日出～日没

区 域 下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | | | | |
|-----|-----------|------------|-----------|------------|
| (1) | 35-01-34N | 136-50-39E | 35-01-46N | 136-50-28E |
| (2) | 35-02-04N | 136-50-26E | 35-02-16N | 136-50-15E |
| (3) | 35-02-10N | 136-50-45E | 35-02-22N | 136-50-34E |
| (4) | 35-01-39N | 136-50-58E | 35-01-51N | 136-50-47E |

標 識 作業船は白赤白のえん尾旗を掲げる。

海 図 W 1 0 5 5 A

出 所 名古屋港長

14年62項

名古屋港 - 第4区 水路測量

弥富ふ頭（西3区）前面海域で水路測量が実施される。

期 間 平成14年2月8日～15日（予備日2月16日～28日）までの日出～日没

区 域 1 下記8地点により囲まれる区域

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	35-01-40.1N 136-47-48.0E	35-01-51.8N 136-47-37.4E
(2)	35-01-41.3N 136-47-53.3E	35-01-53.0N 136-47-42.7E
(3)	35-01-40.9N 136-47-54.1E	35-01-52.6N 136-47-43.5E
(4)	35-01-40.3N 136-47-53.7E	35-01-52.0N 136-47-43.1E
(5)	35-01-36.0N 136-48-02.6E	35-01-47.7N 136-47-52.0E
(6)	35-01-35.4N 136-48-02.2E	35-01-47.1N 136-47-51.6E
(7)	35-01-34.7N 136-47-59.0E	35-01-46.4N 136-47-48.4E
(8)	35-01-33.4N 136-47-57.7E	35-01-45.1N 136-47-47.1E

2 下記6地点により囲まれる区域

(9)	35-01-31.7N 136-48-11.0E	35-01-43.4N 136-48-00.4E
(10)	35-01-32.7N 136-48-11.7E	35-01-44.4N 136-48-01.1E
(11)	35-01-32.9N 136-48-12.0E	35-01-44.6N 136-48-01.4E
(12)	35-01-26.4N 136-48-25.4E	35-01-38.1N 136-48-14.8E
(13)	35-01-15.1N 136-48-24.4E	35-01-26.8N 136-48-13.8E
(14)	35-01-17.7N 136-48-20.7E	35-01-29.4N 136-48-10.1E

標 識 測量船には白赤白のえん尾旗を掲げる。

海 図 W 1 0 5 5 A

出 所 名古屋港長

1 4 年 6 3 項 本州南岸 - 四日市港、第3区 水路測量

下記区域で水路測量が実施される。

期 間 平成14年1月26日～31日(予備日2月1日～8日)までの日出～日没

区 域 下記11地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	34-59-36N 136-40-31E	34-59-48N 136-40-20E
(2)	34-59-34N 136-40-29E	34-59-46N 136-40-18E
(3)	34-59-31N 136-40-37E	34-59-43N 136-40-26E
(4)	34-59-28N 136-40-38E	34-59-40N 136-40-27E
(5)	34-59-16N 136-41-09E	34-59-28N 136-40-58E
(6)	34-59-16N 136-40-59E	34-59-28N 136-40-48E
(7)	34-59-22N 136-40-44E	34-59-34N 136-40-33E
(8)	34-59-09N 136-40-37E	34-59-21N 136-40-26E
(9)	34-59-22N 136-40-03E	34-59-34N 136-39-52E
(10)	34-59-24N 136-40-02E	34-59-36N 136-39-51E
(11)	34-59-43N 136-40-13E	34-59-55N 136-40-02E

標 識 作業船は赤白旗を掲げる。

海 図 W 9 4

出 所 四日市港長

1 4 年 6 4 項 本州南岸 - 四日市港、第3区 環境調査

下記地点で観測機器の設置及び作業船による環境調査が実施される。

期 間 平成14年2月5日～28日(予備日3月1日～15日)までの日出～日没

位置 1 (観測機器設置) 下記地点
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-58.4N 136-43.5E 34-58.6N 136-43.3E
2 (作業船による環境調査) 下記2地点
(2) 34-58.1N 136-42.7E 34-58.3N 136-42.5E
(3) 34-57.9N 136-43.5E 34-58.1N 136-43.3E
標識 設置箇所には赤白旗、簡易灯及びレーダリフレクターを設置する。
備考 潜水作業を伴う。
海図 W 9 4 - W 9 5
出所 四日市港長

14年65項 伊勢湾 - 津港 起重機船作業
下記区域で起重機船による台船への重量物積込み作業が実施される。
期間 平成14年1月27日, 28日(予備日1月29日~31日)の0700~1700
区域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-40-08.4N 136-33-12.3E 34-40-20.2N 136-33-01.8E
(2) 34-40-12.3N 136-33-05.0E 34-40-24.1N 136-32-54.5E
(3) 34-40-17.7N 136-33-10.1E 34-40-29.5N 136-32-59.6E
(4) 34-40-14.4N 136-33-16.7E 34-40-26.2N 136-33-06.2E
標識 起重機船のアンカー投入位置に黄灯付浮標を設置する。
備考 警戒船を配備する。
海図 W 8 8
出所 四日市海上保安部

14年66項 本州南岸 - 国崎漁港 防波堤基礎工事
下記区域で防波堤の基礎工事が実施されている。
期間 平成14年3月15日までの0730~1700
区域 下記位置を中心とする半径100mの円内
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-24-21N 136-55-33E 34-24-33N 136-55-22E
標識 作業区域には赤旗付竹竿を設置する。
備考 (1)警戒船を配備する。
(2)潜水作業を伴う。
海図 W 1 0 5 3
出所 鳥羽海上保安部

14年67項 本州南岸 - 熊野灘 海洋調査等
(四管区水路通報 13年 40号 1099項 関連)
下記区域で調査船「かいよう」による地殻熱流量測定及び海底地震計の撤去作業が実施される。
期間 平成14年2月4日~13日
区域 (地殻熱流量測定)

下記2地点を結ぶ線上付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- (1) 33-30.0N 136-50.0E
 - (2) 32-30.0N 137-15.0E
- (海底地震計の撤去作業)

- 33-30.2N 136-49.8E
- 32-30.2N 137-14.8E

下記26地点

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| (3) 32-53.0N 136-26.0E | 32-53.2N 136-25.8E |
| (4) 32-47.3N 136-42.2E | 32-47.5N 136-42.0E |
| (5) 32-59.0N 136-46.0E | 32-59.2N 136-45.8E |
| (6) 33-04.3N 136-59.4E | 33-04.5N 136-59.2E |
| (7) 33-01.6N 137-11.0E | 33-01.8N 137-10.8E |
| (8) 32-58.0N 136-17.0E | 32-58.2N 136-16.8E |
| (9) 33-04.0N 136-32.0E | 33-04.2N 136-31.8E |
| (10) 33-08.0N 136-44.0E | 33-08.2N 136-43.8E |
| (11) 33-13.0N 136-53.0E | 33-13.2N 136-52.8E |
| (12) 33-15.0N 137-04.0E | 33-15.2N 137-03.8E |
| (13) 33-05.0N 136-21.0E | 33-05.2N 136-20.8E |
| (14) 33-12.0N 136-27.0E | 33-12.2N 136-26.8E |
| (15) 33-18.0N 136-38.0E | 33-18.2N 136-37.8E |
| (16) 33-26.0N 136-49.0E | 33-26.2N 136-48.8E |
| (17) 33-23.0N 136-59.0E | 33-23.2N 136-58.8E |
| (18) 33-18.0N 136-00.0E | 33-18.2N 135-59.8E |
| (19) 33-11.0N 136-11.0E | 33-11.2N 136-10.8E |
| (20) 33-18.0N 136-18.0E | 33-18.2N 136-17.8E |
| (21) 33-23.0N 136-28.0E | 33-23.2N 136-27.8E |
| (22) 33-30.0N 136-37.0E | 33-30.2N 136-36.8E |
| (23) 33-33.0N 136-54.0E | 33-33.2N 136-53.8E |
| (24) 33-29.0N 136-14.0E | 33-29.2N 136-13.8E |
| (25) 33-37.0N 136-29.0E | 33-37.2N 136-28.8E |
| (26) 33-39.0N 136-42.0E | 33-39.2N 136-41.8E |
| (27) 33-39.0N 136-16.0E | 33-39.2N 136-15.8E |
| (28) 33-48.0N 136-33.0E | 33-48.2N 136-32.8E |

海 図 W 6 1 B
出 所 海洋科学技術センター

「四管区水路通報」に関する問合わせ先

第四管区海上保安本部 水路部 監理課 図誌係

〒455-8528 名古屋市港区入船2-3-12 名古屋港湾合同庁舎(6階)

TEL 052-6614611(内線315) FAX 052-6542536(FAX サービス兼用)

E-mail zushi4@cue.jhd.go.jp

第四管区海上保安本部水路部インターネットアドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN4/index.htm>

海上保安庁水路部インターネットアドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

また、FAX によるポーリングサービスも行っています。FAX 番号は『052-654-2536』です。

インターネットによる航行警報の提供について

インターネットにより、航行警報（NAVAREA XI 航行警報、NAVTEX 航行警報、日本航行警報、管区（部署）航行警報）を提供しています。

また、携帯電話（iモード、EZ-ウェブ、J-SKY ウェブ）へのサービスとして、NAVTEX 航行警報、管区（部署）航行警報のうち、沿岸海域（約50キロメートル以内）を設け提供しています。

航行警報アドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/nwj.html>

携帯電話用アドレス

iモード対応機種 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/keitai/TUHO/keiho/>

EZ-ウェブ対応機種 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/keiho/ez/>

J-SKY ウェブ対応機種 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/keiho/js/>

=====

日本測地系と世界測地系の経緯度変換について

「測量法及び水路業務法の一部を改正する法律」(平成13年6月20日公布)の施行により経緯度の基準が4月1日以降、世界標準である世界測地系に変更されます。

海上保安庁では、海事関係者等皆様の便宜を図るため、経緯度数値を世界測地系に変換するコンピュータプログラムをインターネット上で公開しました。

変換プログラムは、海域について日本測地系と世界測地系（WGS84）の経緯度数値を相互に変換できるようになっておりますので、海域で経緯度数値を利用している方々で現在の経緯度数値を世界測地系に基づく経緯度数値に変更する場合などに本プログラムをご利用下さい。

インターネットアドレス：<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について

1 平成14年3月までは・・・

- ・我が国の海図のうち、日本及びその周辺海域の海図については、従来は日本測地系で刊行されていましたが、平成12年4月からは世界測地系で刊行しており、平成14年3月末までに、全て世界測地系海図へ移行されます。
- ・日本測地系海図によるものと世界測地系海図による海図が混在しますので、使用に際しては海図に使われている測地系とGPS等の測位システムの測地系を一致させるなど十分注意されるようお願いいたします。
- ・従来の日本測地系海図は、平成13年10月から段階的に廃版され、平成14年3月末までに全て廃版となります。
- ・水路通報及び航行警報の位置表示は、日本及びその周辺海域については原則として日本測地系と世界測地系を併記することとしています。ただし、入手情報のうち測地系が明らかでない場合、また緊急に知らせる必要がある漂流物等については、「測地系不明」として提供する場合があります。

2 平成14年4月以降は・・・

- ・緯度・経度は世界測地系に統一され、日本測地系海図は、全て使えなくなります。
- ・水路通報・航行警報の位置表示は、世界測地系のみになります。

このため、

下図の日本測地系海図の廃版予定及び「水路図誌目録」(平成13年7月刊行、同14年3月改版予定)を参照のうえ、早期に世界測地系海図の使用に移行されるようお願いいたします。

世界測地系海図の刊行及び日本測地系海図の廃版の詳細については、別途毎週の水路通報などでお知らせすることとしています。

廃版予定海域及び時期

時期 平成13年10月～11月

東京湾
伊勢湾及び付近
大阪湾及び紀伊水道
瀬戸内海
本州南岸
四国南岸

時期 平成13年11月～14年3月

九州沿岸
本州北西岸

時期 平成13年12月～14年3月

北海道沿岸

時期 平成14年1月～2月

本州東岸

時期 平成14年1月～3月

南方・南西諸島

(注) 以上の他、番号5000台の海図及び一部の海図の中には廃版されていないものもありますので、詳細は水路図誌目録を参照して下さい。

